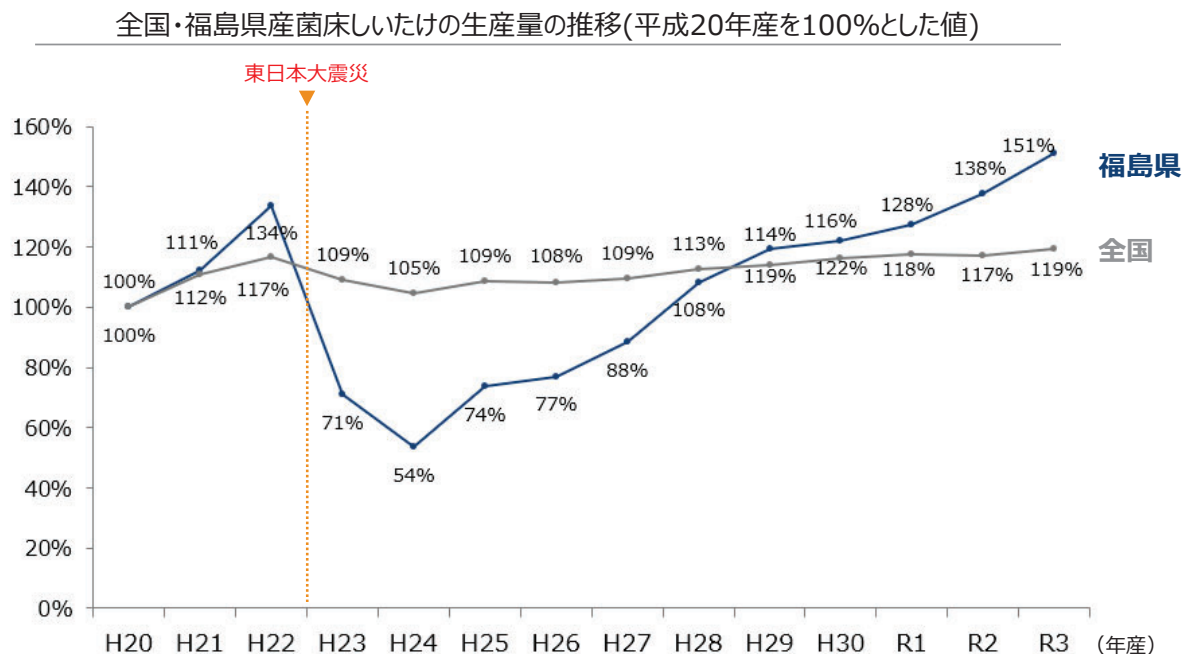


全国・福島県産菌床しいたけの生産量の推移

福島県産菌床しいたけの生産量は、震災後に大きく減少したが徐々に回復し、平成28年産に震災前の平成20年産の生産量を上回り、増加傾向にある。

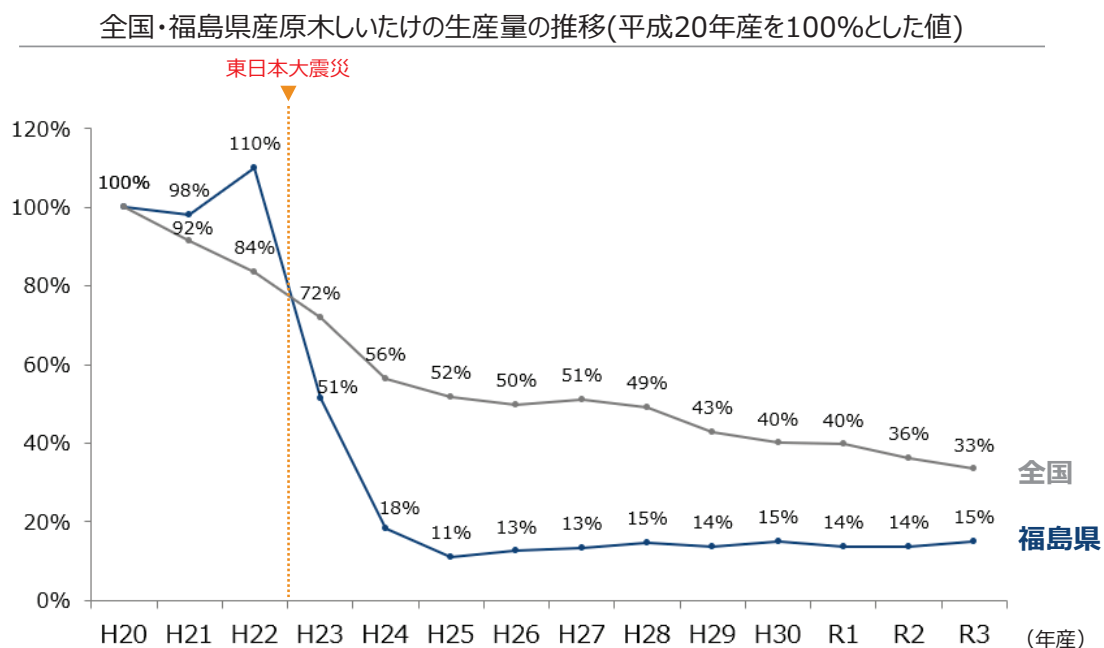


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」 ※生産量は生しいたけと乾しいたけの単純合計。

457

全国・福島県産原木しいたけの生産量の推移

福島県産原木しいたけの生産量は、震災後に大幅に減少し、現在は平成20年産の15%程度となっている。

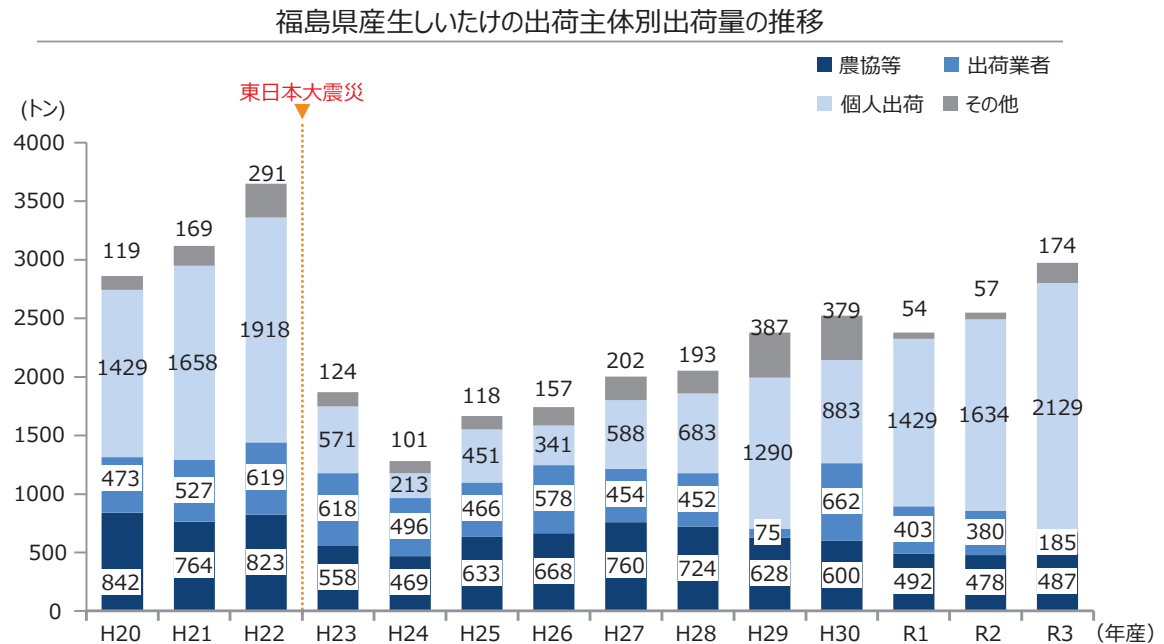


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」 ※生産量は生しいたけと乾しいたけの単純合計。

458

福島県産しいたけの出荷主体別出荷量の推移

福島県産しいたけは、震災後、個人での出荷量が特に大きく減少し、平成24年産は平成22年産の約11%の水準であった。その後再び増加し、令和3年産は平成22年産の約111%となった。一方で、農協等出荷は平成27年産以降、減少傾向にある。

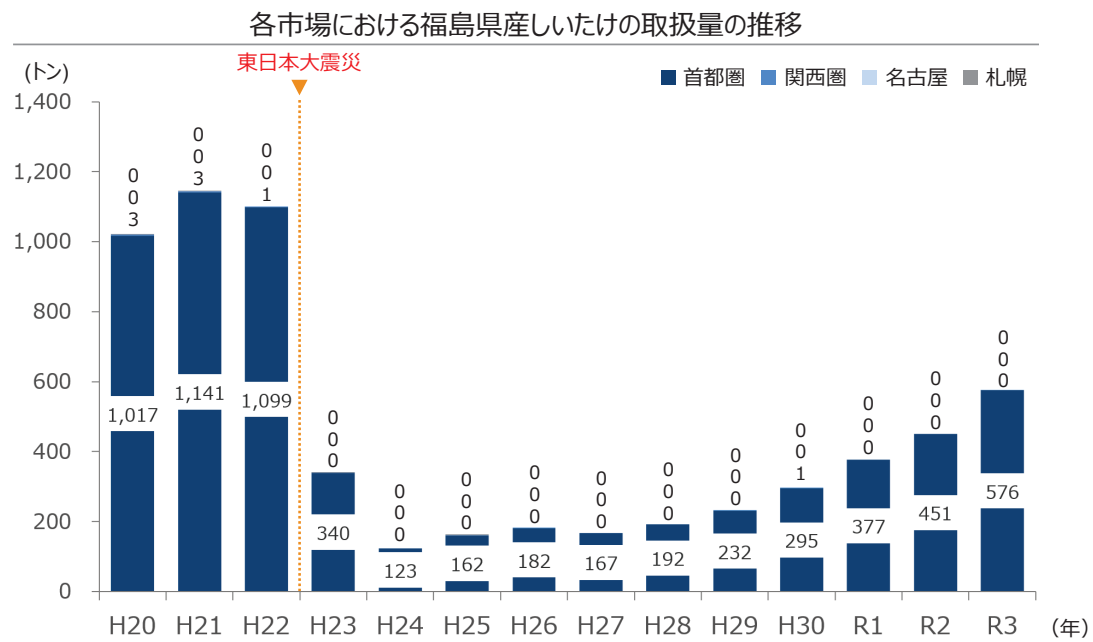


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

459

各市場における福島県産しいたけの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産しいたけはほとんどが首都圏で取り扱われている。震災後に取扱量が大きく減少したが、平成25年以降は少しずつ回復傾向にあり、令和3年には平成22年の約52%まで回復した。



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

460

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産の取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	37%	33%	33%	33%	32%	33%	35%	39%	39%	43%	38%	38%	947
岐阜	16%	14%	14%	12%	15%	16%	13%	11%	9%	9%	12%	16%	346
広島	12%	10%	10%	12%	14%	13%	15%	15%	15%	13%	11%	12%	326
北海道	6%	7%	7%	13%	12%	10%	10%	10%	11%	9%	9%	7%	239
愛知	11%	15%	15%	8%	3%	3%	3%	3%	3%	5%	12%	8%	202
総量	238	216	237	219	188	173	189	179	181	229	272	297	

札幌市中央卸売市場

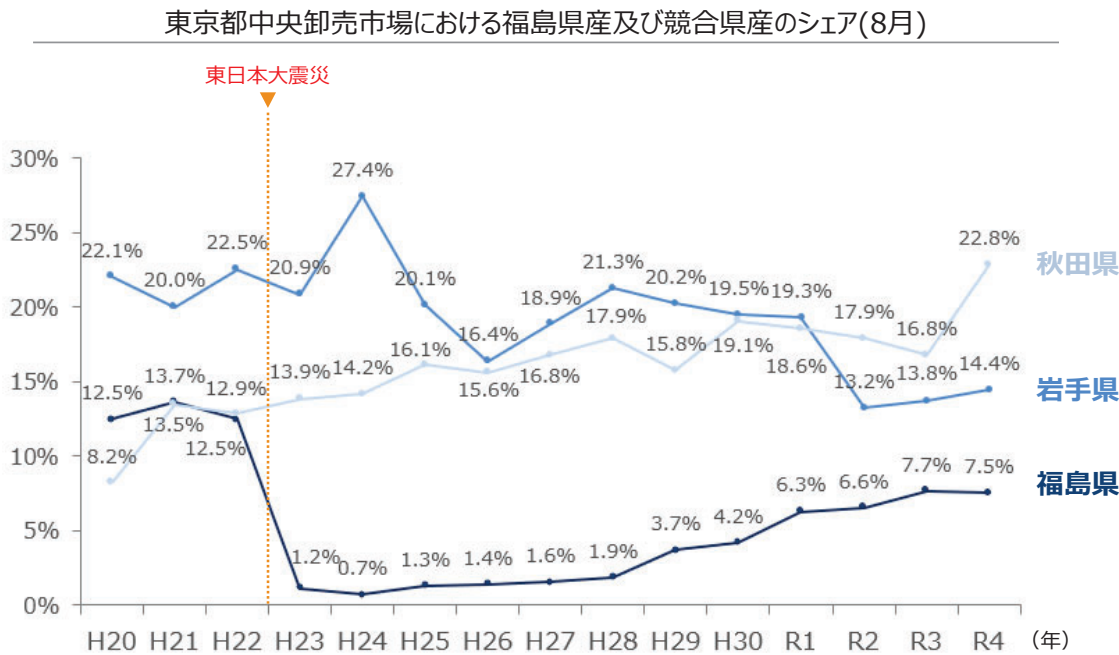
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	472
栃木	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
大分	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
京都	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	46	40	35	39	36	33	35	36	39	41	42	50	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産しいたけのシェアの推移

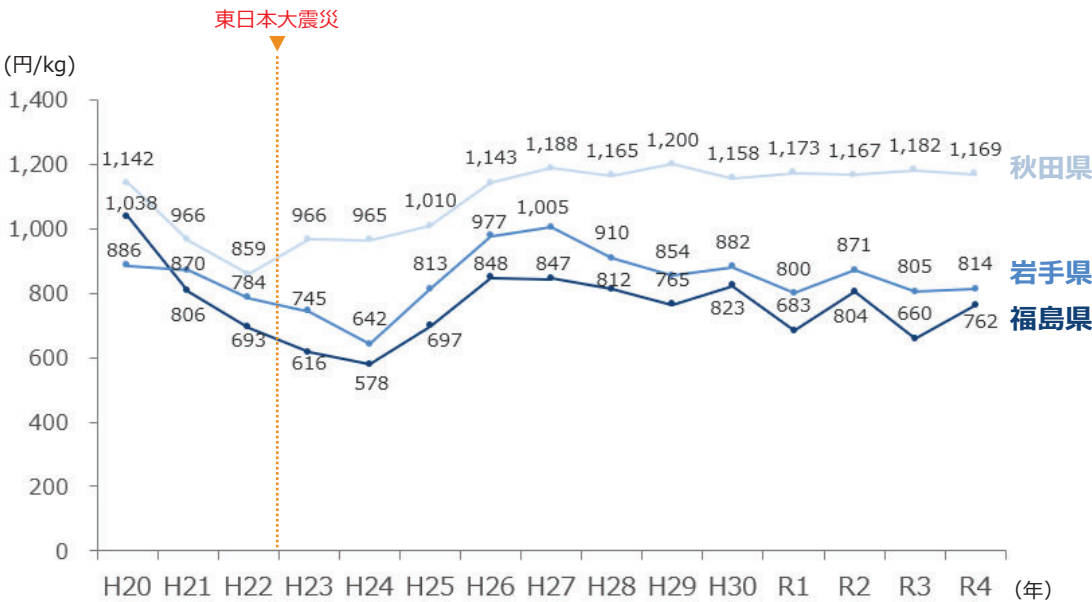
東京都中央卸売市場の8月の福島県産しいたけは、震災後の平成23年にシェアが大きく縮小した。以降は少しずつ回復傾向にあり、令和4年は7.5%まで回復した。



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場の8月の福島県産しいたけの平均単価は、岩手県産、秋田県産を下回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(8月)



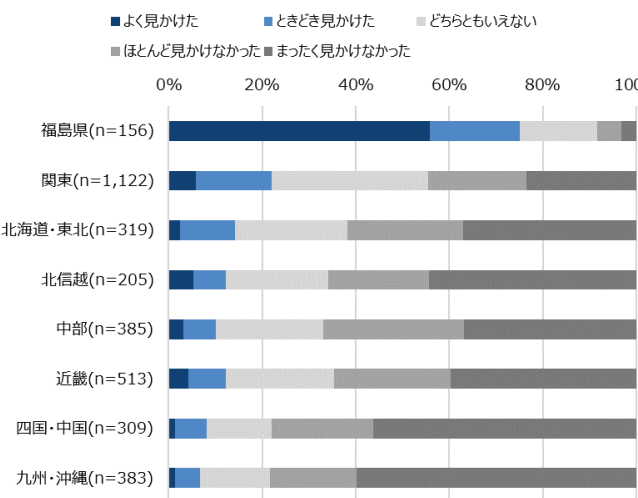
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

465

福島県産しいたけを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

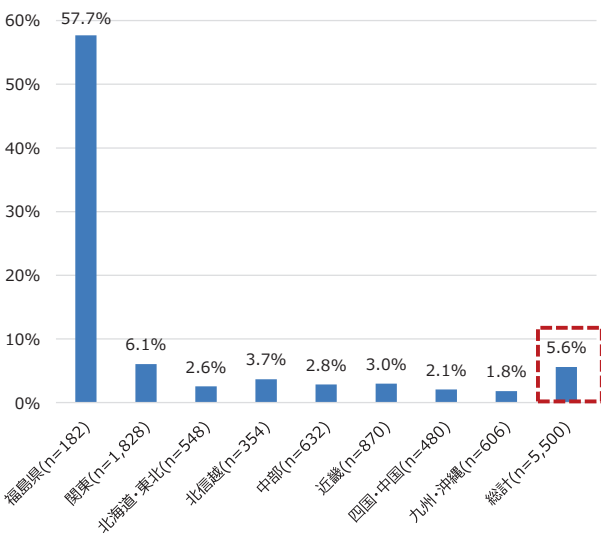
福島県産しいたけをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産しいたけを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.6%であった。

福島県産しいたけを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産しいたけを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産しいたけの購買経験率

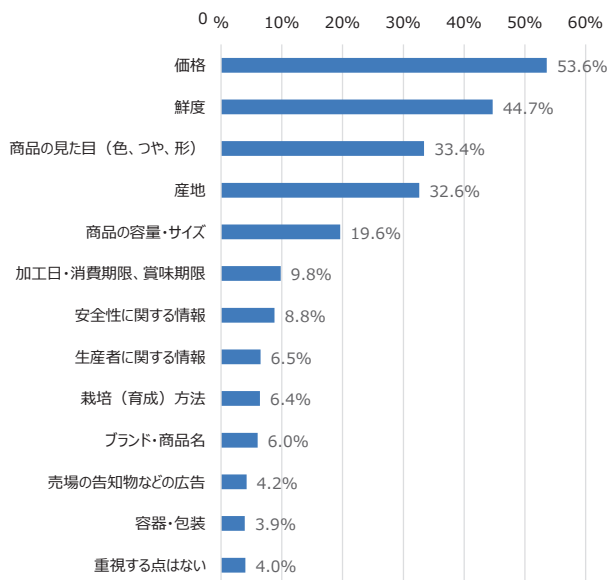


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていた場合は購買経験なしとなる。

しいたけ購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

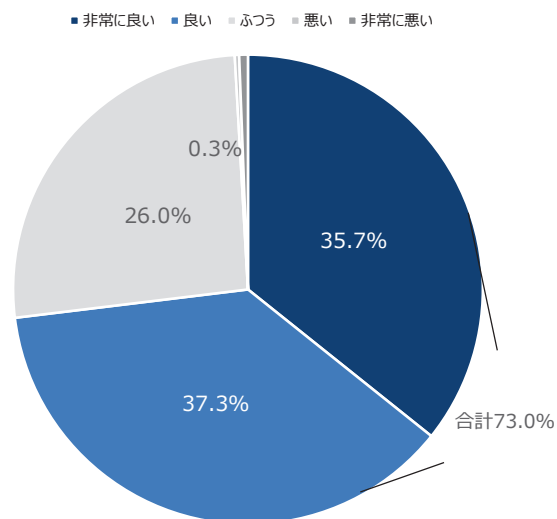
福島県産に限らず、しいたけ購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産しいたけの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が73.0%であった。

しいたけ購買時の重視点（n=3,699、複数回答）



※しいたけ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上しいたけを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産しいたけ購買者の評価（n=308）



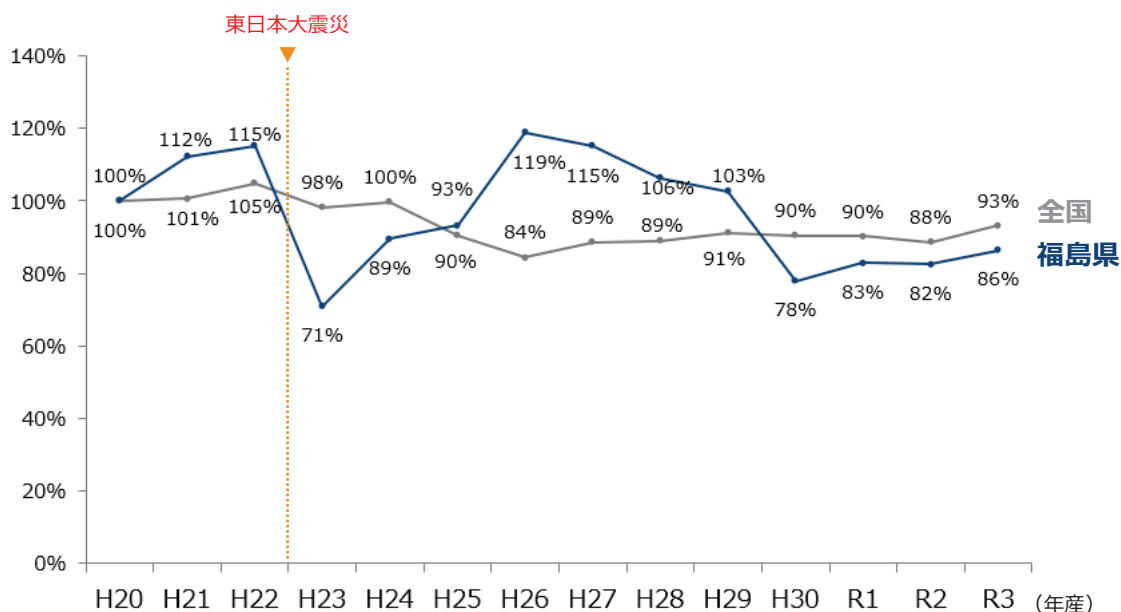
※福島県産しいたけを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

467

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移

全国的になめこの生産量が減少している中、福島県産なめこの生産量は震災後回復してきていたが、平成30年産以降は全国平均を下回っている。

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移（平成20年産を100%とした値）

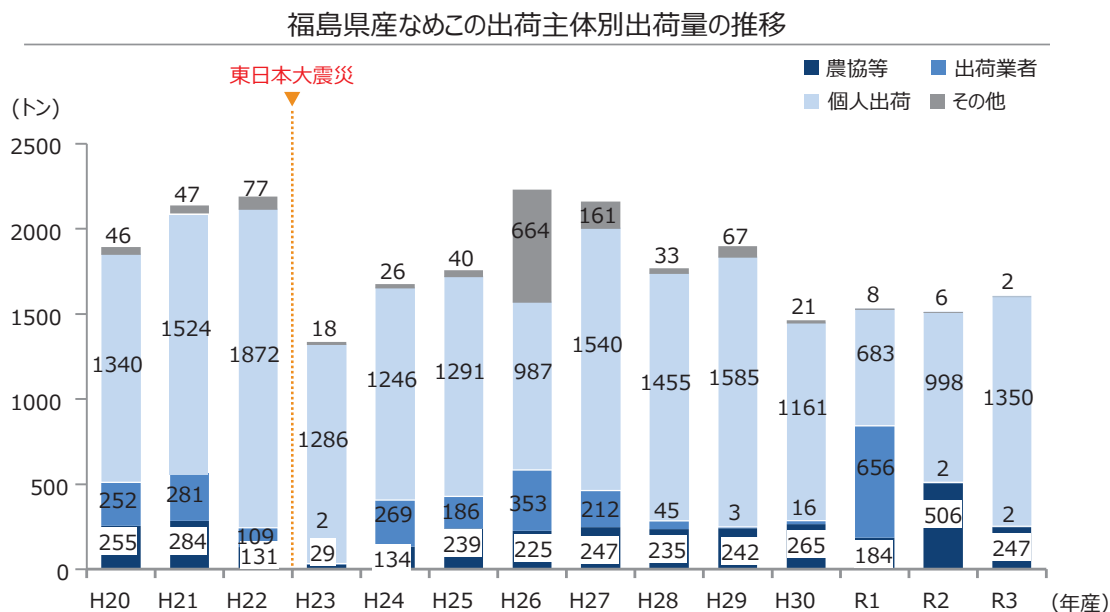


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

468

福島県産なめこの出荷主体別出荷量の推移

福島県産なめこの出荷量は震災直後に減少し、平成26年産・平成27年産では一時的に震災前の水準に戻ったが、平成28年産以降は再び減少した。令和元年には出荷業者の割合が大きかったが、令和2年産以降は再び個人出荷の割合が増えた。

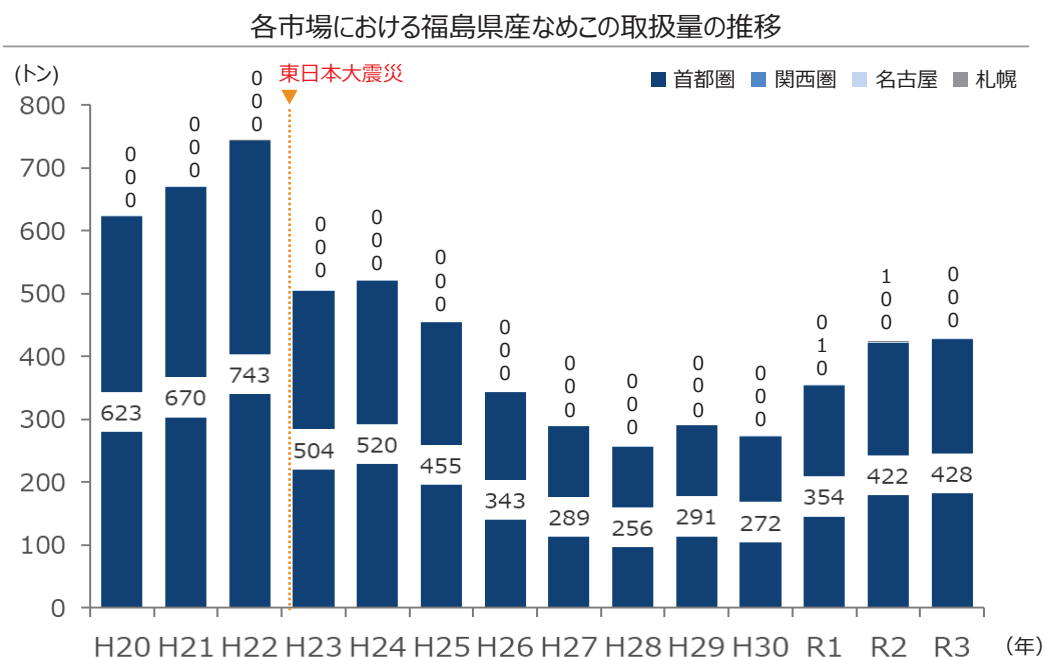


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

469

各市場における福島県産なめこの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産なめこは、令和元年の名古屋・令和2年の札幌を除き首都圏のみで取り扱われている。震災以降取扱量は減少傾向にあったものの、令和元年以降は増加している。



データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

470

各市場におけるなめこの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では1月から6月においてシェア3位であった。横浜市中央卸売市場では年間を通して福島県産なめこの取扱いがあった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

東京都中央卸売市場														各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	14%	17%	15%	15%	15%	14%	12%	10%	9%	9%	9%	9%	376		
山形	28%	29%	27%	28%	28%	29%	28%	31%	30%	29%	30%	30%	887		
長野	27%	24%	27%	27%	25%	25%	24%	27%	31%	30%	31%	31%	840		
群馬	11%	12%	11%	12%	12%	12%	9%	9%	12%	13%	11%	11%	345		
新潟	10%	10%	12%	10%	11%	12%	13%	11%	12%	9%	10%	11%	339		
総量	245	237	274	264	243	253	287	240	227	268	269	274			

横浜市中央卸売市場															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	5%	5%	6%	6%	6%	6%	5%	5%	5%	6%	5%	6%	52		
長野	47%	46%	51%	51%	52%	48%	43%	49%	50%	50%	48%	47%	461		
山形	31%	25%	24%	24%	26%	23%	19%	24%	21%	24%	22%	22%	225		
群馬	11%	11%	12%	13%	11%	12%	11%	10%	12%	14%	13%	14%	115		
新潟	4%	10%	5%	4%	3%	10%	20%	8%	10%	3%	9%	10%	77		
総量	85	82	82	84	76	78	87	67	82	73	82	74			

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるなめこの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産なめこの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

大阪市中央卸売市場														各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0		
三重	75%	77%	67%	68%	47%	48%	50%	54%	56%	56%	56%	53%	229		
長野	15%	12%	23%	22%	43%	44%	41%	37%	34%	36%	35%	36%	125		
和歌山	9%	10%	9%	10%	9%	8%	8%	9%	10%	8%	8%	10%	35		
山形	1%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2		
総量	29	29	31	31	32	32	36	34	31	37	37	34			

京都市中央卸売市場															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0		
長野	94%	84%	94%	92%	94%	94%	89%	95%	92%	93%	94%	95%	119		
和歌山	6%	16%	6%	8%	6%	6%	11%	5%	8%	7%	5%	5%	10		
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0		
総量	9	8	10	11	11	10	14	11	9	11	12	12			

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるなめこの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して福島県産なめこの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	66%	64%	65%	58%	59%	63%	67%	72%	68%	60%	69%	70%	441
長野	33%	35%	34%	40%	40%	36%	31%	27%	31%	38%	30%	29%	229
新潟	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	1%	1%	1%	6
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
愛知	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	52	53	57	55	56	60	55	49	59	65	59	58	

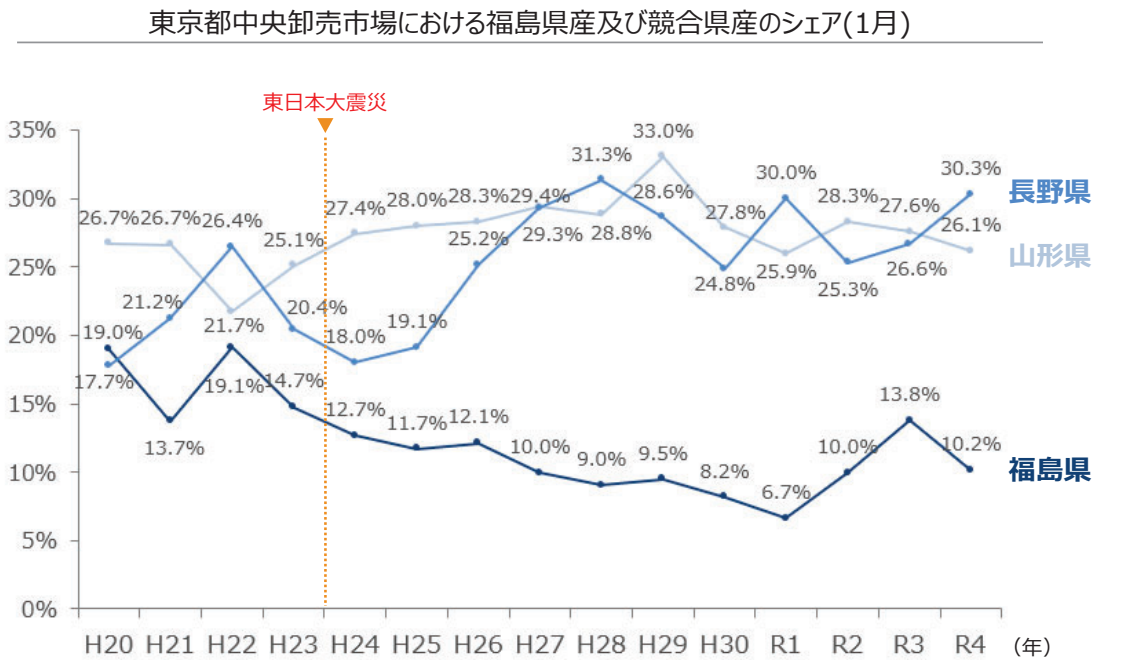
札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	99%	99%	100%	100%	99%	99%	99%	100%	99%	99%	270
山形	0%	0%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	0%	1%	1%	1
長野	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0
群馬	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	25	25	24	25	23	21	21	20	22	22	22	21	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」 ※福島県及び年間取扱量上位を表示。 ※総量・合計の単位はトン(札幌のみキログラム)。 473

東京都中央卸売市場における福島県産なめこのシェアの推移

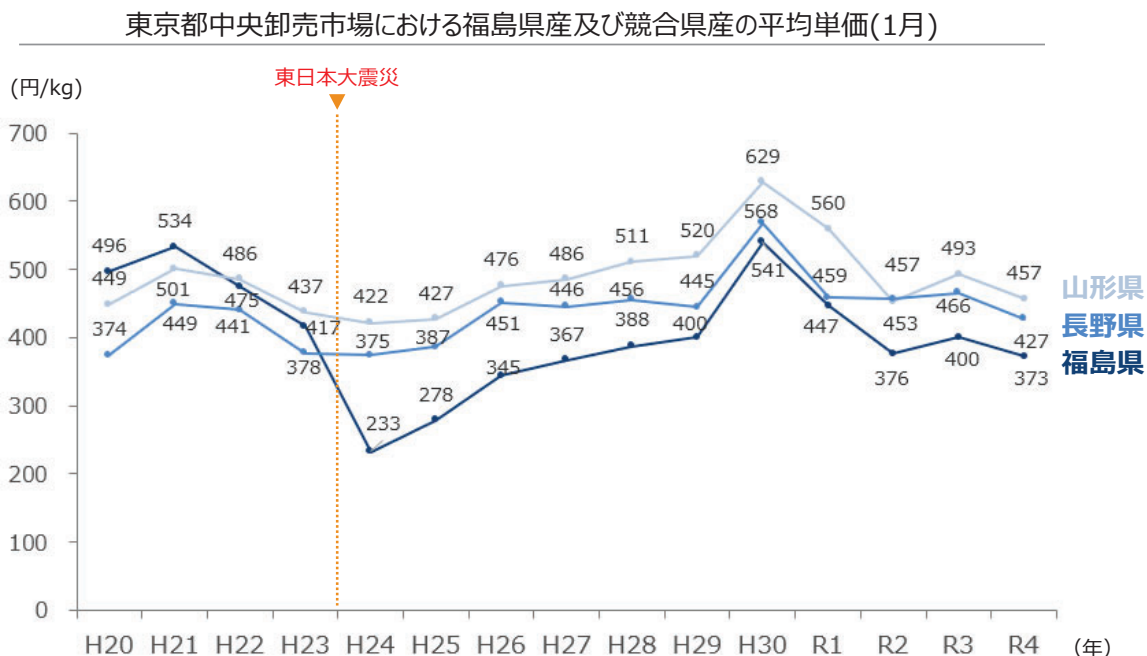
東京都中央卸売市場の1月の福島県産なめこは、令和元年までシェアが縮小傾向にあったが、近年は10%前後で推移している。



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 474

東京都中央卸売市場における福島県産なめこの単価の推移

東京都中央卸売市場の1月の福島県産なめこの平均単価は、震災後大きく下落し、山形県産や長野県産を下回った。平成25年から平成30年にかけて単価は上昇したものの、令和元年以降は下落傾向にある。



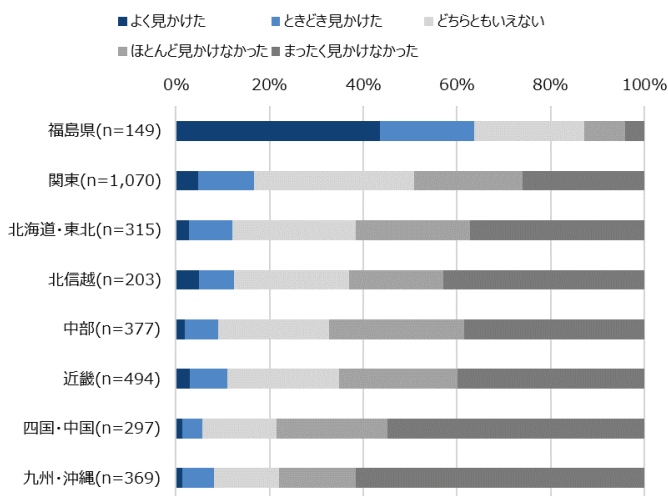
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

475

福島県産なめこを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

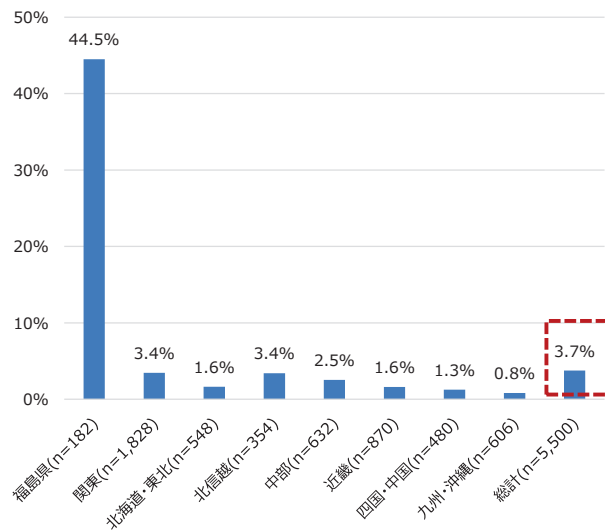
福島県産なめこをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では5%に満たない。福島県産なめこを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.7%であった。

福島県産なめこを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産なめこを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産なめこの購買経験率



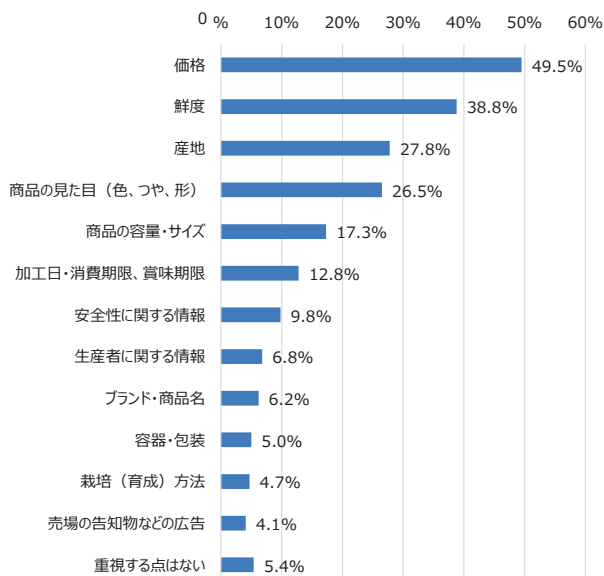
※購買経験率=1度でも購買したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていけば購買経験なしとなる。

476

なめこ購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

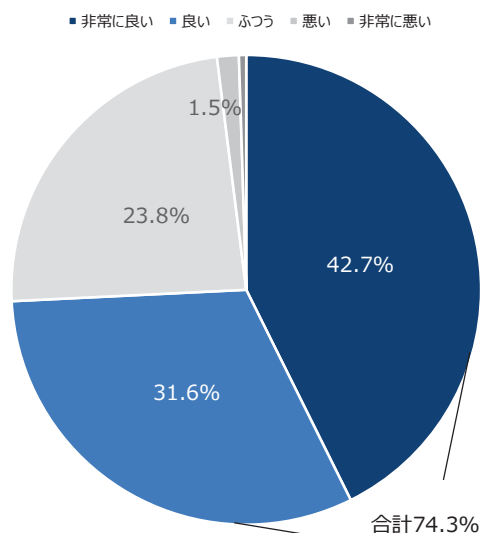
福島県産に限らず、なめこ購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位に上がり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産なめこの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.3%であった。

なめこ購買時の重視点（n=2,742、複数回答）



※なめこ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上なめこを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産なめこ購買者の評価（n=206）



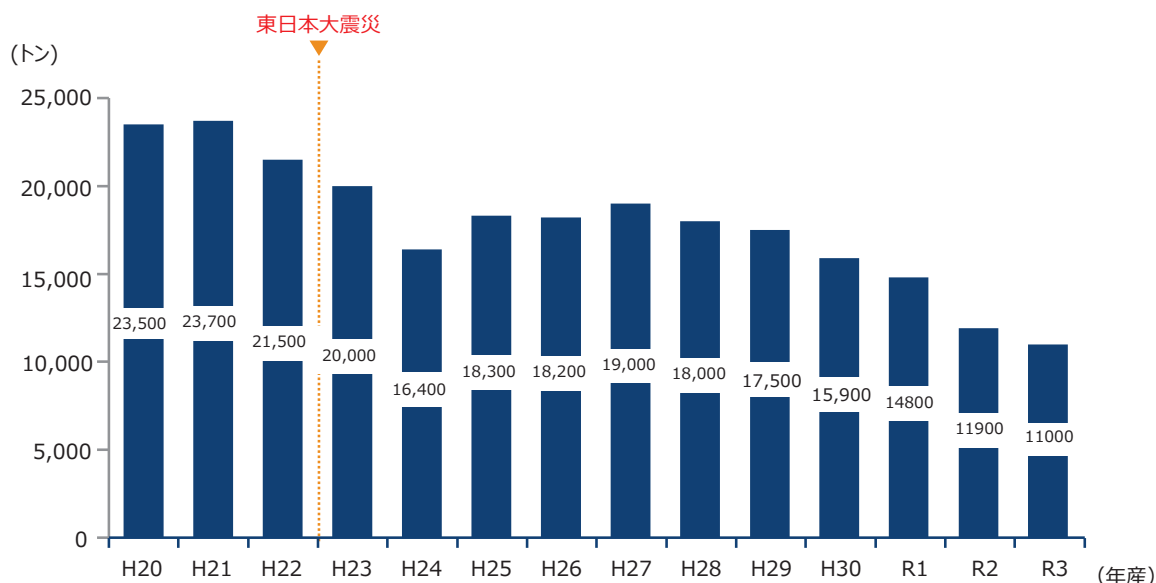
※福島県産なめこを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

477

福島県産日本梨の出荷量の推移

福島県産日本梨の出荷量は、平成22年産から平成24年産にかけて大きく減少した後、平成27年産まで増加していたが、それ以降再び減少傾向である。令和2年産は天候不順による着果不良や病害、令和3年産は霜害の影響もあり、特に出荷量が少なくなった。

福島県産日本梨の出荷量の推移



データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

478